

手塚たかひろの質問と回答（要旨）

①原発事故から市民を守る②美術館問題③生涯学習市民センターと図書館への指定管理者制度導入④子ども子育て支援新制度について質問。主な質問②③について報告します。質問への正面からの答えがないこと、同じことの繰り返しが目立ちます。美術館、指定管理者制度導入、いずれも是非を含めて、市民参加で慎重な検討が必要です。

*美術館建設について

Q 予定地指定に当たって、南公園なども比較検討したと言ったが、資料はないとのこと。検討したのか。

A 香里ヶ丘南公園は、有効面積が満たないから候補地にはならない。比較した資料等はない。

Q 現地に足を運び確かめる、地元の皆さんの話を聞くなどの丁寧な対応が必要だ。香里ヶ丘図書館との併設などを検討したのか。

A 香里ヶ丘図書館との併設の検討は行ってない。

Q 「市民が聞く耳を持たない」「もう十分に時間をかけた」などの市長発言は本当か。

A 私の発言の一部が取り上げられ、意図した主旨が十分に伝わらなかった。

Q 何故、市民が再検討や白紙撤回を求めているのか。市長の見解は。

A 反対の住民がいることも認識しており、今後もきめ細かく、正しい情報提供に努める。

Q 副市長は、市民にご理解いただけるようあらゆる方策を講じていくと言ったが、具体的に何をするのか。

A 市役所別館と南部生涯学習市民センターに模型などを設置したコーナーを開設。広報ひらかた10月号での美術館特集、美術施設利用者との懇談会の実施、地元4校区の地元自治会代表者への説明などを予定。

Q 香里ヶ丘図書館のリニューアル又は建て替えは。

A 美術館の整備を契機に建て替えに取り組む。

（意見）香里ヶ丘図書館との合築なら、公園の緑も壊さない。市民とともに、大東さんにも入ってもらって議論をし、どこにどのような美術館を創るのがよいのか検討すべきだ。

*生涯学習市民センターと図書館への指定管理制度導入について

Q 効率的とは具体的にどのようなことか。市職員でできないのか。

A コスト削減だけでなく、民間の発想による事業展開や、老朽化する施設の日常的な修繕等における迅速な対応、柔軟な人員配置体制など、効果的・効率的な管理運営が図れる。図書館運営は、それぞれの施設の役割分担を明確にし、最適な管理運営体制を構築すること、複合施設に指定管理者制度を導入することで、サービスの向上と合わせて効率的な運営が行える。

Q 下関市長は「図書館はビジネスになじまない。お金に換算できないところに価値がある。来年度から直営に戻す」と発表。指定管理制度に問題がある。

A 中央図書館を司令塔として、行政と民間事業者が得意とする部分を生かして、図書館全体として効率的にサービスを向上させていく。問題はない。

Q 多くの市民は地域の分館を利用する。分館の機能強化、権限強化こそ必要。分館を中央図書館の出先・窓口にしてはならない。

A 選書は、現在も枚方市立図書館蔵書計画に基づき、各館の意見を聞きながら選書会議を通じて中央図書館が購入しており、今後も同じ様な手法を考えている。

Q 牧野で開催された意見聴取会に参加した。発言されたすべての方が指定管理制度導入に反対または否定的。制度導入反対の意見をどう反映するのか。

A 指定管理者制度導入準備についての市の方針を示した上で、利用者からの意見を聞いた。さまざまな意見を踏まえ、課題整理を行い、指定管理者に委ねる業務について検討をすすめる。

Q 指定管理者制度導入を前提とした、意見聴取会ではなく。現状の課題を明らかにし、どうすれば解決できるのか、それを利用者、市民と時間をかけて、あるべき姿、問題点改善方法などを議論し、その上で、指定管理者制度導入がよいのか悪いのかについても一から議論の対象にすべきだ。

A 施設の効果的・効率的な維持管理や、多様化する市民ニーズに対応しサービス向上を図るためには、指定管理者制度の導入が適切と判断した。